

小学校区：その他

問3 年代	問4 子どもの有無	問5 就学区分	問6 (学校の再編について)	問7 (小中一貫教育の推進について)	問8 (その他)
(未入力)  (未入力)	(未入力)  (未入力)	(未入力)  (未入力)	時代の流れは高等学校を入れた取り組みと思いますが、たとえば油縄子小(大久保小)→多賀中(大久保中)→多賀高 大変だろうが一歩進んだ改革をして下さい。 学校再編の考え方を、対象となる生徒たちの意見をまとめる。 手順 ①各学校の意見(生徒の代表者)②生徒の意志は(まとめて)③生徒の決定への参加目的 世界に通用する日本人を発掘する		
40~49 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	中学生	たくさんの人との交流があり良いと思う	今回のコロナ禍等で子供達もいろいろな不安を抱えていると思うので、職員が生徒一人一人を向き合うことができるのは良いと思う。 いくつかのリスクはあると思うけど、1つ1つ対策を考え、問題を解決していくべきかなと思う。	
(未入力)	(未入力)	(未入力)	この度、学校再編計画に関してご意見をお聞かせくださいという問いかけがあり、その概要について資料を拝見しました。このことに関して、各地域住民の考えを伺う姿勢には敬意をもちます。地域の子供の数が減ってきたからと、その地の学校が廃校になった事例は数えきれないのではないのでしょうか。 地方行政は、国家の法令や財政の関係からくる文科省の指導の下に市町村の公立学校の統廃合を考えざるを得ないでしょうが。 私が考える事 地域のコミュニティの核は例え分校でも小中学校。それが大きな支えになっていると思います。そこに村人たちが支えられて、地域コミュニティがあって、生きてこられた。その核を失えば村は消える。この辺の住民の意思を確かめて欲しい。 国家は経済も産業も教育も全てが物質主義一色で、一定ルールで仕切っている。その地域の状況によって、柔軟に対応できないのか。殊に義務教育は「地域の将来にかけた投資でもあろう」と思う。		今の教育には地域社会や生い立ちの里などに関した学習がいかにあるか。NHKの朝ドラに古閑祐至さんが取り上げられている背景は如何に。あの方は戦前・戦後と当時の国民を支えてくれた作曲家であった。わが国の今日に、何か大事な朝ドラではと想像してしている一人です。 20世紀の後半に少子高齢化社会が明確になって、近代国家づくりにヨーロッパを手本にしてきたわが国がアメリカ偏重であることに、将来の経済は勿論、地域社会などあらゆる面が関係してくると思います。少子問題であれば過去のフランス、高齢化社会問題であれば今日の北欧諸国。この諸国は国土面積の小さな国々だが、歴史を経てのすばらしい国家で我が国の将来を考えるに有り難い手本ではないだろうか。 アメリカ一辺倒では将来のわが国は、厚生省人口問題研究所の推計通り、つぶれると思う。その過程でのご提案に拍手をお贈りしたい。殊に中里地区の先行きを楽しみに。 あれこれと、勝手なことを申し上げましたがお許しください。わがふるさとのコミュニティもやがては消えると思うと、残念です。 最後になりましたが、市内の地域コミュニティができるだけ消えないようにお願いいたします。
50~59 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	中学生	今後の少子化を考えますと、学校再編の目的は理解しますが、統合と現在変更なしにおける説明が不足していると考えます。 統合(現在変更なし)におきましては、生徒と保護者が一番影響を受けますので、その事を考えた現在以上の説明が必要と考えます。 ご検討の程、よろしくお願い致します。	小中一貫教育の目的は理解しますが、それを達成するにあたってのハード(学校施設の確保など)、ソフト(情報伝達手段：どの様にICTなどを活用するかなど)の説明が不足していると考えます。 小中一貫教育のメリット、デメリットも明確にした上で、現在以上の説明が必要と考えます。また、小中一貫教育=戦前の軍国主義を連想させますので、現在の民主主義を意識した説明も必要と考えます。 ご検討の程、よろしくお願い致します。	今後、地区ごとの説明会が実施予定だと思いますが、その際には説明と質問の時間を確保した十分な説明が必要と考えます。 ご検討の程、よろしくお願い致します。

小学校区：その他

問3 年代	問4 子どもの有無	問5 就学区分	問6 (学校の再編について)	問7 (小中一貫教育の推進について)	問8 (その他)
80~89 歳	(未入力)	(未入力)	保護者は現在は中高一貫に重点をおいている傾向があるので、将来は中学校は生徒数がより少なる時代になると思います。従って中学校1に対して小学校1~3校の構想は賛成です。その際の私案は次の通り。尚、中学校の統合は難しい問題となるでしょう。 多賀中・成沢小・油縄子小のグループ 大久保中・大久保小・諏訪小のグループ	子供たちの心身の発達とAIなどの時代の教育を考えて、現小学4年までは現状通りの小学校。小5、6年からは中学生と併行して「小中一貫」とする方が実効的だと思いますが、「法」というものがあるので、政治の問題かもしれません。	学校の統併合については、通学の利便性やバス利用などの負担の問題もあると思いますので、市教育委員会、市議会などで適正な議論を期待します。
60~69 歳	(未入力)	(久慈中)	反対です。通学手段が大変になります。学校近くの子供達と遠方では特に雨の日に差がつく等問題あり。又、最近は家庭内も少人数であり、学校も同じく少人数でのクラスでいいのではないかと。例えば、生徒10人/1人の教師とする位でもお互いコミュニケーションが図られると思います。高校生以上になれば多人数になります。それまでの期間は家庭と同じ人数構成でいくべきと考える。	一貫教育は賛成です。但し、教員の充当等、学校側の整備が優先ではないでしょうか。学校再編は最小にして進めるべきと考えます。 小学6年から中学1年に進学時、他行の移動も可能となる等、配慮してほしいと思います。 部活動のあり方も一緒に考えるべき。小学生は少年団等が主ですが、中学になると部活になり、一貫になった場合、どう進めるかです。	1)中学校のカバン、ジャージ等、日立市内統一にすべき(ネームで識別)。市内で転校しても負担にならないようにする) 2)児童、生徒の少ない学校は、空部屋を保育園やコミュニティセンター等に改修する等、地域に必要な場所とする。 小さな子供と老人も一緒に身近にいる事で何等かの効果が得られるのではないかと。 学校教育に効率化は不要です。義務教育とは何か原点に戻り、現在の社会情勢と照らし進めて下さい。一度廃校にしたら戻りません。
(未入力)	(未入力)	(未入力)	9/11の日経新聞トップに「日立、これからの投資は設備から人材へ」という記事が載りました。以前から企業の方向をものづくりからDXへとの検討を重ねてきて、16万人の従業員にデジタル教育を始めるまでとなりました。 テレワークが急速に進み、地方移住に弾みがつくことが予測されます。 東京本社から地方への移住を考えた時、日立市は広大な日立製作所の所有地がありますので、本社機能の一部を日立市に移すことも考えられます。こうした問題への将来的な日立製作所の意向を、早急に確認しておく必要があるのではないのでしょうか。学校再編計画もこの面からの検討をしておくべきと考えております。		
40~49 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	中学生 (多賀中)	まともなくても良いと思う。少人数クラスの方が先生の目が行き届き、個人一人一人目が届き、一人一人の成長が良くわかるし、先生の採用が減らなくて済み、若い先生がいなくなってしまうのを防げる。	賛成です	個人個人の時代です。戦後の教育方針はもう古いです。風のかるやかな時代です。どなりつける先生が未だにいます。トラウマになるだけです。競争させるのは古いです。恐怖を植え付けないでください。
50~59 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	中学生 (大久保中)	せっかく新しく出来て間もない小学校、中学校を閉鎖するのはムダに思う。小中一貫校実現していく上での再編のイメージができない。今までの設備を高校生や大学生の居場所を作ってはどうか？学校で部活に入っていない学生向けの体育館や音楽、美術の体験する場所を、高校生、大学生向けに作るのには良いと思う。	義務教育9年間を一貫教育に推進することに同意します。子供の身近なお友達を見ていると、何らかの事情で小学校を卒業した後に中学校に通えなくなっている方が何人かいます。発達の速度が各々に違うこと、原因は分かりませんが、協調性がどうしても発達しないお子さんが増えているように思います。中学から家庭に引きこもるケースも多々あります。小学校部門と中学校部門の先生方との協力体制と、家庭の保護者との理解を深めてもらいたい。小学校で優秀な成績のお子さんについては、本人と保護者の希望に応じて中高一貫校(日立一、水戸一)に進学するとういと思う。途中から私立学校への転入も良いと思う。	少子化は日本全体で考えないとならないと思う。2人の子育てをしてきたが、2歳、3歳の手のかかる世代にもっとリラックスして子供と遊べたり、預けられたら良かったと思う。そういう場所は少なかった。子育てを終わった年配のベテランお母さんがボランティアで参加してくれていた。その中で、おもちゃライブラリーなどの集まりに、いつも参加しているお母さん同士話していて、仲間に入れてもらえなかった。ベテランお母さんの意見は、きつくて、子育てをちゃんとしていない母親の様に見られた。教育をしてからボランティアを行ってほしいと思った。

小学校区：その他

問3 年代	問4 子どもの有無	問5 就学区分	問6 (学校の再編について)	問7 (小中一貫教育の推進について)	問8 (その他)
40~49 歳	1. 中学生以下の子どもがいる	中学生 (駒王中)	学校の場所的な問題もあると思いますが、駒王中や大久保中のように新しい校舎を使用しないのは建て替えを検討しているということなのでしょうか？駒王中のような教科教室型の学校は市内にはないので、ついもったいなと思ってしまいます。	分散進学がなくなることは良いと思います。ただ、施設分離型で推進の課題に掲げているような子供達の個性や発達の状況を理解して信頼関係を深めることができるのでしょうか？	通学に関してですが、日立では路線バスの整備(本数や経路が少ない)が十分ではない状況なので、バス待ちの時間が発生し、中学生などは帰宅時間が遅くなり安全面を考えると不安です。スクールバスでの送迎などは難しいのでしょうか？
50~59 歳	(未入力)	(十王中)	実施すべきです。政治的な思惑を除外し、考えて欲しい。出来るところからでもいいので進めて下さい。	私立校で考えると小中高大学までの一貫教育が一般的に思います。これは受験戦争から子供を開放する考えもあります。今回の小中一貫教育は、ハードウェアとなる校舎の共有による経費の効率化を図るためと受けとれます。あまり教育面での子供にとっての効果はあるのか疑問です。小中高、または大学までの一貫教育を推奨します。	社会は教育のためにあり、教育は社会の手段になってはいけません。教員がもっと子供という時間がとれる様、教員の負担をなくして欲しい。
(未入力)	(未入力)	(未入力)		山の団地の高齢化が進んでいるが、台原中が小中一貫校になって、卒業生のほとんどが日立一高や水戸一高に進学しました!!となったら、市外から引っ越してくる人も増えるかもしれない。一般的に一貫校に求めるのは学力の向上、先取り学習等だと思われる。	
(未入力)	(未入力)	(未入力)	大久保中と多賀中の統合の件ですが、草案は、反対意見です。理由は、 ①少し前に耐震補強工事で多くの税金投入したため(税金の無駄遣い) ②日立は、他の市より道路が狭く、車の数が多いので学生の交通事故が増加する(先ずは、東海村のようにインフラ整備してから…順番が逆) ③多賀小、中、高と同じ地域に集まると犯罪地域が集中し、学生への危害が増える可能性がある。(統合しての財政メリットより学生の人命を優先すべき)		
(未入力)	(未入力)	(未入力)			統合予定の仲町小学校の場合、これから入学する場合は、仲町小学校、宮田小学校どちらになるのでしょうか。
(未入力)	1. 中学生以下の子どもがいる	小学生	本庁地区の中学校の場所は、なぜ、平沢中なのか。		平沢中と駒王中の統合について、高鈴町在住だが、早ければ、中学在学中に統合になるスケジュールである。在学中に転校することになるのか。
(未入力)	(未入力)	(未入力)	統合には反対です。統合するならわざわざ日立市に住まなくても良かった。十王中に通わせたくて日立市に住むことにしたけれど、統合するなら引越しも検討中。		

小学校区：その他

問3 年代	問4 子どもの有無	問5 就学区分	問6 (学校の再編について)	問7 (小中一貫教育の推進について)	問8 (その他)
(未入力)	1. 中学生以下の子どもがいる	未就学児	今、住んでいるところの学区の学校が統合されることが分かりました。 これから入学する子どもがいるのですが、学校が統合されることが分かっているのも、とても不安です。幼稚園の転園のときも、子供の体調異変があり、統合時がとても不安です。入学時から統合先の小学校に通うのにはどのようにしたらよいのでしょうか。		
(未入力)	1. 中学生以下の子どもがいる				これまでの検討経緯を聞きたい。
(未入力)	1. 中学生以下の子どもがいる	未就学児			再編予定の学区に住んでいる。再編先の学校に入学することができるか。
(未入力)	(未入力)	(未入力)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大みか小は、今の計画では再編されないということか？ (回答：児童数の推移を見ながら、今後検討していく)</li> <li>・再編の基準はあるか？ (回答：小学校は、ひと学年2学級以上を目安としている。なお、2040年(20年後)には、大みか小も2学級未満になってしまう。大みか小の再編は、今後の児童数の減少の推移を見ながら検討していく)</li> <li>・通学には路線バスを使うのか？ (回答：徒歩での通学を原則とするが、地理的条件などを考慮しながら、学校・保護者・地域などがバスを利用した方が望ましいとした場合は、路線バスの活用を検討する。通学方法は、再編が決定してから、学校関係者・保護者・地域などのメンバーで協議をする。協議期間は5年前後を見込んでいる。通学方法を含む学校の在り方の協議によっては、期間が延びたり縮んだりする。)</li> </ul>		水木小と泉丘中の方に家を建てようとして検討している。再編のスケジュールがはっきりしないと、土地をどこに購入にするか決まらず困ってしまう。